

令和 2年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: みどり自然課

担当名: 野生生物担当

内線: 3154

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B33	森林保全対策・「森の番人」育成事業費		一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	鳥獣保護管理対策費		
事業期間	平成20年度～	根拠法令	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律		宣言項目				
					分野施策	051247 生物多様性の保全			
1 事業の概要			5 事業説明						
<p>近年、シカの生息数の増加や生息域の拡大に伴い、森林破壊が深刻化している。これを防止するためには、シカの捕獲を進める必要がある。</p> <p>そこで、シカを捕獲し、「森の番人」としての役割を担う狩猟者の持続的な育成・確保を行い、森林の保全を図る。</p> <p>(1) 新規担い手確保対策 △310千円 (2) 保護管理担い手研修会 △2,652千円 (3) 共同捕獲実施研修 △207千円 (5) 野生鳥獣保護管理普及啓発 △40千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>近年、狩猟者は高齢化が著しく、減少傾向にある。そこで、「森の番人」としての役割を果たせる狩猟者を確保するため、狩猟免許の新規取得者を増加させ、また、安全かつ効率的な捕獲活動が行えるよう、捕獲技術の向上を図る。</p> <p>ア 新規担い手確保対策 鳥獣保護管理・狩猟免許制度講習会開催、狩猟免許試験講習会委託 3,392千円→3,082千円</p> <p>イ 保護管理担い手研修会 ペーパーハンター研修会委託 3,293千円→641千円</p> <p>ウ 共同捕獲実施研修 共同捕獲実践研修委託 2,181千円→1,974千円</p> <p>エ 鳥獣保護管理支援検討会 被害対策、捕獲体制及び効果検証のための検討会開催 60千円</p> <p>オ 野生鳥獣保護管理普及啓発 普及啓発パンフレットの作成等 330千円→290千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 新規担い手確保対策 鳥獣保護管理・狩猟免許制度講習会: 年1回、狩猟免許試験講習会: 年6回</p> <p>イ 保護管理担い手研修会 ペーパーハンター研修会: 年2回</p> <p>ウ 共同捕獲実施研修 東京都との共同捕獲実践研修: 年2回(事前研修会: 年1回)</p> <p>エ 鳥獣保護管理支援検討会 検討会: 年2回</p> <p>オ 野生鳥獣保護管理普及啓発 普及啓発パンフレットの作成等</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 社会的な意義を自覚した若年層の狩猟免許保持者が増加することで、長期にわたって活動できる狩猟者が確保される。</p> <p>イ 狩猟者の技術の向上により、シカ等の捕獲が安全でしかも効率的に実施できる。</p> <p>ウ その結果、森林が保全される。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 経験豊かで指導力のある狩猟者を擁する一般社団法人埼玉県猟友会との連携により事業を実施する。</p> <p>(5) 補正予算の概要</p> <p>ア 委託料の契約差金の発生に伴う減額 △3,110千円</p> <p>イ 経費削減による減額 △99千円</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分) 林野行政費(細目) 鳥獣行政費 (細節) 鳥獣行政費 (積算内容) 鳥獣保護事業の実施等に関する事務									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.3人=2,850千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△3,209	繰入金						0	6,047
現計額	9,256							0	